
令和3年10月13日

令和3年度第2回健幸都市づくり推進本部会議

開催日時 令和3年10月13日(水) 午前9時15分から午前9時30分まで

開催場所 全員協議会室

出席者 市長、山本副市長、辻川副市長、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(経営戦略・デジタル推進担当)、危機管理監、総務部長兼法令遵守監、まちづくり協働部長、環境経済部総括副部長(環境経済部長代理)、健康福祉部長、健康福祉部理事(健幸都市づくり・地域共生社会推進担当)、子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、建設部理事(プール整備事業担当)、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長

議事概要 下記のとおり

審議案件

(1) 第2期草津市健幸都市基本計画の策定に向けた検討内容等について

【事務局から資料1、参考資料1～6に基づき説明】

【質疑・意見】

・資料1の「主な成果」欄に【実施できなかった事業】の項目があるが、できなかった理由は外部委員会のときに説明するのか。例えば、まちの健幸づくりに挙がっている「景観ウォーキングマップ」は、依頼を受けて実施する事業であり、事務局側の理由ではない。デジタルサイネージについても、草津駅や南草津駅ですでに活用できているので、もう少し時間をかけて検討していくものである。そのような理由が外に出るのか、実施しなかったということだけが出るのか。

⇒この資料だけでは理由が伝わりにくいので、原因を付したうえで説明をさせていただく。

・概ね90%以上の事業が実施できているのに、全体目標を達成できていないことが課題として挙がっているが、事務局としては原因や今後の対処方法をどう考えているのか。

⇒1つ1つの事業がダイレクトに指標に影響するとは考えにくいですが、総じて啓発不足だと考えている。

・目標と施策がリンクしていないのが原因ではないか。次期計画でも同様の施策を展開していくのか。全体目標を変えないのであれば、全体目標に紐づくような施策を展開して市民が直接実感できるようにしないと変わらないのではないかと。

⇒第1期計画期間中の来年度までは現在の全体目標となるが、第2期計画については事業や目標も含めて今後検討していく。

・全国的に健幸都市の取組は進んでおり、草津市も Smart Wellness City 首長研究会に加盟しているが、他の自治体も課題を抱えているのか。好事例等の情報は把握しているのか。他市の計画等を調査して次期計画に備えてほしい。

⇒現在は把握できていない。計画策定委託事業者に依頼して、全国的な動き等を調査させていただく。

報告案件

(2) 令和3年度健幸都市くさつの実現に向けた提案報告書について

【事務局から資料2に基づき説明】

- ・各提案と「まち」「ひと」「しごと」の相関関係が記載されているが、「しごと」はこの相関関係をみても弱いのがわかる。若手職員が施策を提案しても「しごと」の分野が弱いと言えるのであれば、次期計画の構成を考える一助となる。ひとの健幸づくりが一定進んでいるのであれば、「まち」と「しごと」に重点を置いてはどうか。

⇒今後2期計画を策定するにあたり、指標の設定についても再度検討したい。

このページのお問い合わせ

概要作成担当	草津市 健康福祉部 健康福祉政策課 健康福祉政策係
電話	077-561-2360
ファクス	077-561-2482
メール	kenkofukushi@city.kusatsu.lg.jp